



奈良県生駒市と 友好都市を提携しました



令和3年11月2日、敦賀市は奈良県生駒市と友好都市提携を結び、同日、生駒市・敦賀市両市長による友好都市提携宣言書への調印式を敦賀市役所にて執り行いました。

調印式では、小紫雅史・生駒市長と瀧上隆信・敦賀市長が、中谷尚敬・生駒市議会議長、田中和義・敦賀市議会議長、上野弘・敦賀市教育長の立会いのもと、友好都市提携宣言書に調印しました。

生駒市とは平成26年2月26日に「原子力災害時等における敦賀市民の県外広域避難に関する協定」を締結しました。

その後、市民を対象とした避難施設の視察や研修、両市の物産イベントでの特産品展示販売など、様々な交流事業を実施してきました。ところ、生駒市が令和3年11月に市制施行50周年を迎えるに当たり、新たな友好都市として本市へ締結のご要望をいただきました。

避難先の方々や日頃から顔の見える関係の構築を願う本市にとって、生駒市と将来にわたり交流を深めていくために大変ありがたく、喜ばしい申し入れであることから、友好都市提携を結ぶ運びとなりました。

今後は、それぞれの市が持つ自然環境や歴史・地理的特性を活かしながら、この友好都市提携を確かなものにするため、子どもたちの交歓事業やスポーツ、文化など幅広い分野における新たな市民交流を実施するとともに、観光物産面でのつながりも強化していきたいと考えています。

生駒市ってこんなところ

生駒市



生駒市は奈良県の北西部に位置します。人口約12万人を有し、令和3年11月に市制施行50周年を迎えました。

緑豊かな住宅都市として、シンボル「生駒山」をはじめ、日本初のケーブルカーや、「高山茶釜」などの伝統工芸と関西文化学術研究都市などの最先端技術が融合し、豊かな自然と歴史のあるまちです。

また、将来都市像「自分らしく輝けるステージ・生駒」を掲げ、地域住民による地域課題解決やまちの魅力を発信する取り組みをはじめ、低炭素社会の実現に向け高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジされています。令和元年7月に「SDGs未来都市」に選定されるなど、各種の事業を積極的に展開し、市民が主体となって住みよいまちづくりに大きな成果を挙げています。



生駒市HP

問合せ先 総務課 ☎22-8101

日本水道協会の災害応援の概要



災害時の水道 断水に備えて

■水道の相互応援

今年10月に和歌山市の紀の川にかかる水道管が一部崩落したことにより、約6万世帯が6日間にわたり断水しました。このようなことが敦賀で起きたらどうなるのでしょうか。

敦賀市は、被災した市町村だけで対応する事が困難な大規模災害が発生したとき、日本全国の水道事業者が協力して応急給水や応急復旧を行う、災害時の相互応援協定を日本水道協会を通して結んでいます。

実際に敦賀市は、今年10月の和歌山市のほか、平成30年2月の寒波による断水被害にあった石川県輪島市と、平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた広島県呉市に職員と給水



和歌山市へ派遣される担当職員への激励



和歌山市での給水活動の様子

■市民のみなさんへお願い

大規模な災害や水道の事故が発生した場合、救援物資や応急給水の体制が整うまでに車を派遣し、日本水道協会中部地方支部の一員として応急給水活動を行いました。

このような敦賀市からの派遣と同じように、もし、敦賀市で大規模な災害が発生し、水道が断水するようなことがあった場合には、全国から応援を受けることとなります。上水道課では、もしもの備えとして、病院や避難所となる建物の受水槽の位置や給水ルートの把握を行って、応急給水をスムーズに受けられるよう準備をしています。

3日程度かかると言われています。日常生活を送る上で必要な飲料水は1人あたり1日3リ程度です。各ご家庭でも3日分以上を目安に備えてください。

また、飲料用に水道水を備蓄する場合は、手、容器、容器の蓋をよく洗い、空気が入らないように容器いっぱいまで水道水を注いで密封し、冷暗所で保存してください。なお、消毒効果を考慮して、3日に1度は水を入れ替えてください。

ご家庭でも災害に備えて飲料水の備蓄をお願いします。

問合せ先 上水道課 ☎22-8144